青森県下の興味深いカミキリ２種

阿部　東・藤田　宏

青森県において，分布的に興味深い次の２種のカミキリを採集しているので報告したい。いずれも今まで青森県から記録のなかった種である。

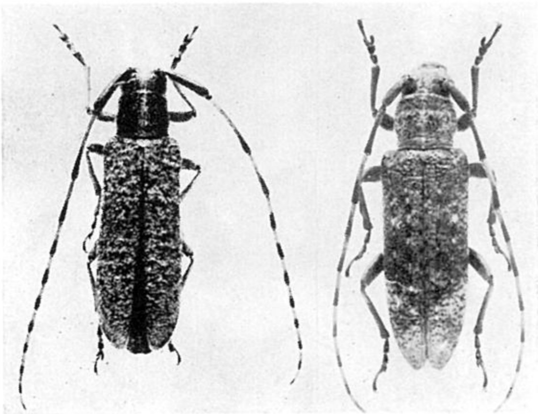
1.　ケマダラカミキリ

Agapanthia daurica GANGLBAUER

1♀，青森県五所川原市飯詰，21. Ⅴ. 1974，
阿部東採集

久しく本州における確実な記録のなかった種であったが，青森県には確実に分布するようである。(写真左)

ハンゴンソウから飛び立った３頭の内の１頭をネットインしたもので，ハンゴンソウの生葉を後食していた。



2.　ヒトオビチビカミキリ

Sybra unifasciata FUJIMURA

1♂5♀♀，青森県津軽郡小泊村七ツ滝，
13〜14. Ⅷ. 1976，藤田宏採集

すべてミツバアケビの直径 2〜3 cm の半枯れづるに止っていたもの。関東・中部地方，北海道で記録されていながら，中間の東北地方における採集例のなかった種である。(写真右)

採集地小泊は筆者の１人阿部が1974年８月にトウホクトラカミキリを採集している所で，今回も同種を狙って訪れたが，採集することはできなかった。

同地は竜飛岬に近い海岸沿いの放牧地で，ミズナラ・カエデ等を主体とした雑木林がある。海岸より500m程離れた地点であるにもかかわらず，今回，本州では中山帯で見られるヒトオビチビカミキリ・ルリボシカミキリ(1♂2♀♀)やオオチャイロハナムグリ（1♂）が採集され，それと同時に同じ場所で，クワの立枯れをトラフホソバネ（2♂♂）やフタオビミドリトラ（4 exs.）が這いまわっており，また，叩き網でもクモノスモンサビ(1♀)やケシ(多)などの南方系のカミキリが得られるという，本州中山帯の種と南方系の種が入り混った興味深い昆虫相を呈していた。

なお，今回得られた40種近いカミキリについては，阿部により「青森県立郷土館調査研究年報」の津軽半島西北部山塊のカミキリリストに追加報告される予定である。

（阿部：〒037　五所川原市松島町 2-91-3）
（藤田：〒110　台東区台東 2-29-6）

編集後記

この号は，はたして総会の日に間に合うだろうか。
（入稿直前）

きわどく間に合いそう？
（成増のとある喫茶店で初校を受けとって）

開闢以来，公約通りに出せそうです。
（日暮里のとある喫茶店で再校を受けとって）

印刷屋さんへ。「いつも変な編集後記ですみません。校正のたびに怪しげな文章が追加されていますが，気にしないで下さい。」　（念校を渡すときに）

間に合った!!　（本を受けとって）（？？？）
（藤　田）

注）本誌の正式名称は「ELYTRA」であって，「Elytra」および「エリトラ」ではありません。お間違いのないよう。

ELYTRA　Vol. 4, No. 2

昭和51年11月15日　印刷
昭和51年11月21日　発行
編集者　藤　田　　宏
発行者　草　間　慶　一
発行所　日本鞘翅目学会
Japanese Society of Coleopterology
東京都台東区東上野4-26-8
福田惣一方（〒 110）
c/o, FUKUDA, 4-26-8, Higashi-Ueno, Taitō-ku, Tōkyō-city, Japan
印　刷　㈱大和印刷